



表題は一緒に歩む男女共同参画をイメージしています

知っていますか？ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

人権啓発用語辞典によるとWHOの健康の定義に照らして「性と生殖に関する健康とその権利」を指します。単に生殖の過程に疾病が無いという事ではなく、身体的・精神的・社会的に良好な状態であること。1994年にカイロで開かれた国連の国際人口開発会議(カイロ会議)でこの言葉が将来に向けての行動計画の中に取り上げられました。その内容は、

- ① 人は誰でも希望する時に希望する数の子どもを持つ事ができる。
- ② 女性にとって妊娠・出産は安全である。
- ③ 妊娠・出産は母児の生命・健康にとり安全である。
- ④ すべてのカップルは望まない妊娠や病気に感染する恐れなしに性的関係を持つ事ができる。

また、リプロダクティブ・ライツは基本的人権としてのその権利を指します。

誰もがリプロダクティブ・ヘルスを得られることは「継続ケア」として重要で、他の分野にも利益をもたらします。女性が妊娠するかしないか、するとならいつかを自己決定できる力をもてば、女性が健康に妊娠し、産前ケアを受けようとする確率は高くなり、子どもが乳児期と幼児期を生き延びる確率も高まります。母親が生存している場合、少女が教育を続ける可能性は高くなり、若年結婚の割合は低下し、出産も20代になるまで遅らせる可能性が増す。その結果、妊娠・出産が原因で死亡するリスクは低くなると考えられています。

大崎市男女共同参画推進条例では、基本的施策の中に生涯に及ぶ性と生殖に関する健康と権利の保障に関する施策を定め、各年代層に対応した性と生殖に関する正しい知識の普及、生涯にわたる女性の健康保持のための施策を展開しています。先に開催された、男女共同参画審議会では、女性特有がん検診の受診率向上のため、委員より様々な意見が出されました。

市民参画の  
リレーコラム

「リレーコラム」へは、市民参画による寄稿を頂いております。次号(H24.2.1 発行予定)では、「古川消費者の会」の掲載を予定しています。



リレーコラム

チャレンジ！「焼肉のたれ」作り

東日本大震災より、9カ月が過ぎ、新しい建物が並び「あれっ！前は、ここに何建てたっけ？」と考えてしまうほど周辺の様子が変わってきました。復興が確実に進んでいることを強く感じます。私たちも、まだまだ頑張らなければと思います。

さて、私たちのグループは、発足15年を迎え、現在40名の農家のお母さん達で活動しています。地元でとれた野菜を活かし、いざいざと豊かな生活を求め、互いに知識や技術の向上を目標に活動しております。

今年は、震災で活動を自粛しておりますが、好評の「焼肉のたれ」作りを紹介します。ちょっと分量を変えてもOK！！家族みんなでニコニコ、元気モリモリ、健康で頑張りましょう。

古川地域農村生活研究グループ連絡協議会 会長 高橋順子さん

- 「焼肉のたれ」  
◎材料(3ℓ～3.3ℓできあがり)  
①にんにく5～10片  
②玉ねぎ500g ③人参200g  
④りんご(紅玉)350g

- A 朝鮮漬の素1袋(50g)  
しょうゆ1.8ℓ 砂糖1kg  
みりん300cc 酒100cc  
白いりごま適宜

- ◎作り方  
(1)①～④をミキサーにかける  
(2)鍋に(1)とAを合わせ火にかけ沸騰したら弱火で20～30分煮詰めて出来上がり  
1カ月位熟成させるとより美味しくなります。





# 「女性特有のがん検診」を受けていますか？ ～子宮頸がん・乳がん検診～

女性特有のがんは、大腸がん、胃がん、肺がんと並んで、検診がたいへん有効ながんです。

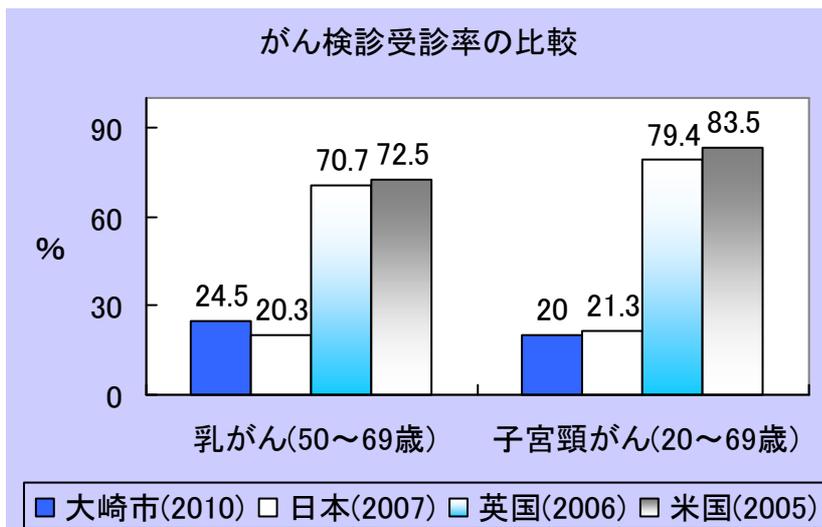
特に子宮頸がん、乳がんは、ウイルス感染や女性ホルモンが関係しているため、30～40歳代に多く、年間1万人以上の女性が、この2つのがんで命を落としています。

欧米のがん検診の受診率は、70～80%以上であるのに対し、日本では20～21%と先進国の中で比べると最低レベルで、大崎市も同様です。

がんは遺伝でできるものはわずか5%程度で、「生活習慣病」の要素がたいへん大きい病気です。健康な人の身体にも毎日毎日多数のがん細胞が出来ては、免疫細胞により死滅しています。食事のバランスや運動、適正飲酒、禁煙などに心がければ、がんになる危険性は大きく減ります。

しかし、ゼロにはなりませんので「生活習慣の改善＋早期発見・治療のためのがん検診」の「2段がまえ」が必要です。

大崎市では、大切な命を守るため各種女性団体の総会などで、検診の実情をお話しさせていただき、検診の呼びかけの協力をもらっています。



## 古川地域女性団体連絡協議会は、



## ピンクリボン運動を推進しています。

ピンクリボン運動とは、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを訴えるための活動のことです。筆記体のし字の形をした、ピンク色のリボンがそのシンボルとされています。



今年で3回目となったこの運動は、10月29日(土)手作り旗を掲げイオン古川店頭において、会員20名の参加でチラシ等を配布し健康を守るため検診の大切さを呼びかけました。

**あとがき** 河川や水田には、白鳥をはじめ様々な渡り鳥が飛来し羽を休めています。車窓から鳴瀬川には、例年と変わらないように冬景色が映ります。

風邪が流行する季節です。帰宅後は、うがいや手洗いを励行しましょう。良いお年をお迎えください。

おおさき男女共同参画推進ニュース『With』では、みなさんのご意見・感想・情報をお待ちしております。

大崎市市民協働推進部まちづくり推進課  
男女共同参画推進室 電話 23-5069